

活動概要 (目的・目標、具体的な取り組み等)

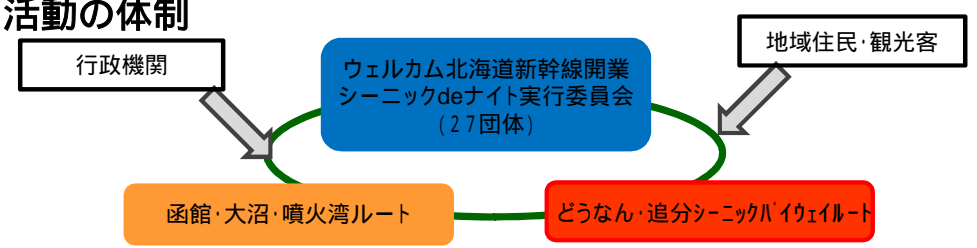
活動の目的・目標

手作りのワックスキャンドルで道路沿線などにあかりを灯すイベント「シーニックdeナイト」が、平成18年度から函館・大沼・噴火湾ルートでスタートし、どうなん・追分シーニックバイウェイルートも平成22年度から「どうなんシーニックdeナイト」として実施。今年度、各ルートで通年行われているシーニックdeナイトを継続実施する一方、新幹駅として新しく誕生する新函館北斗駅・木古内駅のエリアで活動する両ルートが連携した事業として、「ウェルカム北海道新幹線開業シーニックdeナイト」を新たに企画。本事業は、北海道新幹線が開業する3月26日、新幹線から来る観光客への「おもてなし」と長年地域が切望し続けた「喜びの気持ち」を、地域全体で気運を高めながら、全て手作りによるワックスキャンドルに想いを込め、新函館北斗駅・木古内駅・函館駅の3駅にて、おもてなしイベントを同時開催するもの。新幹線開業イベントが様々な機関・団体等に行われている中、3駅同時に開催するイベントは本事業のみ。

活動内容

北海道新幹線開業日夜 (19:00 ~ 22:30)、全て手作りのワックスキャンドルを、新函館北斗駅に500本、木古内駅に400本、函館駅に400本、計1,300本設置点灯した。このワックスキャンドルを作るために必要な牛乳パック (1L) を収集するため、函館市地域交流まちづくりセンターなど計11箇所 (函館ルート及びどうなんルート内) に回収箱を設置し、地元コミュニティラジオや新聞等を通じ地域に発信することで、1,986本の牛乳パックを収集した。さらに、地域住民や観光客が自由に参加できるワックスキャンドル製作体験会を2回 (函館朝市ひろば、木古内保育園) 実施し、計1,392本のワックスキャンドルを製作。加えて、全てのワックスキャンドルは、地域住民や関係者等からの思いのメッセージ付きのものとなっており、道南地域全体で連携、気運を高めながら、おもてなしの心を醸成した。当日には、新幹線から来る観光客をおもてなしするためのキャンドル設置点灯の他、ポンポンや手旗、記念撮影用ボード、ノベルティを準備。

活動の体制



新函館北斗駅 (3/26) 木古内駅 (3/26) 函館駅 (3/26) キャンドル製作体験会 in木古内保育園

PRポイント

工夫した点、苦労した点

- ・ 実行委員会やルート関係者間の情報共有ツールとして、イベント当日に向けた現在の進捗状況等をまとめた「キャンドル通信」を計6回作成し、配信。
・ 地域住民や観光客に対して、牛乳パックの回収やキャンドル製作体験会開催などの情報を、地元コミュニティラジオや新聞 (計11回)、テレビ、ポスター・チラシを通じ発信。

活動の効果

- ・ キャンドル製作体験会やキャンドルメッセージ入れなどの事業準備段階から、道南地域全体 (函館ルート及びどうなんルート) で、子供から大人まで幅広い層の関係者 (地域住民や観光客など) が一体となって事業を実施することができ、次年度以降のルート連携事業のモデルとすることができた。



チラシ・ポスター 函館新聞 (2/28) キャンドル通信 (計6回) おもてなし風景in函館駅